

景観審議会・事前説明でのご意見と反映の方針について

| 委員 | 意見 | 意見要旨 | 素案 該当頁 | 反映方針 |
|------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 後藤会長 | 事前説明 | 中間とりまとめ案で「協働」という言葉を使用しているが、最近は「協働」から「共創」にシフトしており、自治体もそのように表現するところが増えている。調布市としては「協働」という言葉を大切にするのか、時流を見て「共創」という言葉に今回の改定から変えるのか、景観だけの問題ではないかと思うので市役所で議論いただいて判断いただきたい。 | 全体 | ご意見を参考に、景観計画の上位計画である調布市総合計画や都市計画マスターplanの記載と整合を図りつつ、「共創」の表現を第8章等に取り入れていきます。 |
| 菅原委員 | 審議会 | p.8等に掲載している <u>写真の位置を、地図上にプロットし、位置関係が分かるとよい</u> 。写真と図は大きいほうが伝わりやすい。写真のクオリティはイメージ想起に重要な役割を果たすため、選定は慎重にするべき。 | 全体 | ご意見を参考に、計画に掲載する写真の選定を行います。なお、これまでの市民検討会等で参加者から提供いただいた写真や、市有写真（広報素材等）を活用し、視覚的にもわかりやすい紙面構成に配慮します。 |
| 菅原委員 | 審議会 | p.30は写真があまりよくない。色合いが鮮やかでなく、水平がとられていないため、安藤建築の良さが表れていない。 | | |
| 菅原委員 | 審議会 | p.55など、 <u>写真とキャプションを整合させたほうが良い</u> 。 | | |
| 後藤会長 | 審議会 | 今回の改定では計画期間が示されていない。計画策定から10年を経て改定に伴い、都市マス等との関連計画との整合を図る上で、 <u>時間軸を整理する必要があるのではないか</u> 。 | 全体 | 景観形成は年数を区切るものでないという認識のため、現行計画に倣って計画期間、目標年次は設けないものの、必要に応じて「1-4 景観計画の見直しと拡充」に基づき見直しを行います。 |
| 菅原委員 | 事前説明 | 行政の固い文書で、美しい景観を作ろう！と思う感じではない。 <u>配色や文字の大きさ、絵や写真の選定等工夫をして雑誌みたいなわくわく感がもっと欲しい</u> 。第1部は導入部分であるし、たくさん的人に参加してもらえるような柔らかさ、わくわく感がもっと欲しい。 | P1 第1～3章 | ご意見を参考に、紙面デザインや写真の更新・精査により、市民の手に取りやすいよう工夫します。 |
| 杉山委員 | 事前説明 | <u>方針4の「ほっとする」が地域コミュニティのことを指していることに違和感がある</u> 。人と自然が織りなすことなのではなかったか。 | P19 3-1(2) | 景観基本計画（平成24年）、現行の景観計画（平成25年）から継続している基本方針であり、一定程度市民に浸透していることから、変更はせず、記載方法等を工夫します。 |
| 菅原委員 | 事前説明 | 重点地区の図は抽象的な印象。もっと <u>図の中に目印になるようなもの</u> があつた方が良いと思う。自分の家がわかるようなものだと空気感が伝わって良いのではないか。 | P21 3-2(2) | 主要な道路、町丁目境、施設（市役所等）を追加し、図を見やすく修正します。 |

| 委員 | 意見 | 意見要旨 | 素案 該当頁 | 反映方針 |
|-------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 杉山委員 | 事前説明 | 景観計画素案に記載があるデジタルサイネージやプロジェクトショーンマッピングは光害的な問題もあり、うまく使う方法が難しい。場所等の制限を示している自治体もあるが、調布市としてはどう考えているのか。広告物としては規制が難しい部分もあり、アドバイザリ相談に出している区もある。(激しく映像が変わるものには不可としていたりする) 今後重要な部分であるのでみんなで考えてほしい。 | P25 4-2(1) | 本改定では、東京都屋外広告物条例への適合や、屋外広告物・屋内広告物に関する景観形成方針について追記しました。今後、屋外広告物ガイドラインの改定や夜間景観ガイドラインの策定も検討していることから、他自治体の取組方法や規制誘導の状況等を調査しながら、具体的な景観形成の方法について検討していきます。 |
| 後藤会長 | 審議会 | 夜間景観について、夕焼けの景観も調布らしさを感じる要素として重視したい。 基本目標の「ほっとする～」を決めた際に、市民から多く意見が挙がった覚えがあるため、昼夜の景観だけでなく夕焼けもぜひ取り入れてほしい。 | P27 4-3 | ご意見を参考に、夕陽のビュースポット等のご意見も景観資源図に取り入れるよう工夫します。 |
| 杉山委員 | 事前説明 | 工作物の指定について「橋」は入らないのか。市でやるものと都・国でやるものがあるとは思うが、市でやるものについては届出させたほうが良いのではないか。 | P28 4-4 | 第4章において、「道路の景観形成」として無電柱化、街路樹、橋などに関する景観形成方針を示します。 |
| 杉山委員 | 事前説明 | 崖線について、階段ができる場合の手摺の色やガードレールについても設置されると思うが、そのあたりも検討対象になるのか。擁壁や階段だけの整備をする際の付属物について。ガードレール・手摺の色についても記載しておくと良いと思う。コンクリート打ちっぱなしの崖線になってしまうのはよくない。 | P28 4-4 | 第4章において、擁壁や階段、道路附属物に関する景観形成方針を示します。 |
| 藤山委員 | 審議会 | 「重要な景観資源等の指定の方針」について、現行計画からの変更点はあるか。 実施内容と、スケジュール感を示していただけるとわかりやすい。せっかくの良いタイミングのため、今回反映できるとよい。 | P30 5-1 | 市民アンケート、子どもアンケート、市民検討会の結果等を踏まえ、記載を充実しました。あわせて、第8章に示す市民協働・市民提案による景観づくりの周知・啓発を行っていきます。 |
| 椎原副会長 | 審議会 | 第10章の指定方針を市民にも共有いただきたい。市民に広く親しまれている文化財建造物などもある。 | | |
| 椎原副会長 | 事前説明 | 景観重要建造物や樹木、地区指定について、市民が指定したいと思ったものを指定できるようなボトムアップでのフロー図があればいいなと思う。 | P30 5-1 | 景観行政事務の煩雑化を防ぐため、市民からの個別提案を受け付けるのは難しい状況ですが、市民検討会や市民アンケート結果等を踏まえて、貴重な景観資源の指定を進めていきます。 |

| 委員 | 意見 | 意見要旨 | 素案 該当頁 | 反映方針 |
|-------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 藤山委員 | 事前説明 | 調布駅から深大寺に続く道は、今回の改定で道の景観形成推進地区に指定しないのか。整備が終了してからの追加では、沿道の建物が建て替わった後になり、意味が無いように思う。 | P43 6-3(2) | 調3・4・30号線等は、都市計画マスタープランで「緑の連携軸」として位置づけているものの、当面の整備予定が定まっていないことから、道路整備の状況を見て、段階的に景観まちづくりの方針についても反映していきます。 |
| 藤山委員 | 審議会 | 令和5年の都市マス改定に伴って反映した点はあるか。 都市マスで追加された調布駅から深大寺へ延びる「緑の連結軸」の部分は、景観計画でも触れてほしい。特に、京王線跡地が整備され、住宅の裏側が突然表に出てくる形になった。新しい道路ができる場合などは、街並み景観形成について検討すべきではないかと感じている。 例えば都市計画道路は、事業認可のタイミングなど、実施内容とスケジュール感を検討してほしい。 | P43 6-3(2) | 都市マス改定等に伴い、景観形成推進地区の区域について、農の風景育成地区、調布駅周辺、都市計画道路等を拡大しています。都市計画道路の整備に伴う景観形成については、景観の方針を定めるところから議論が必要であり、今回の改定には反映していませんが、ご意見を参考に、随時検討を進めています。 |
| 杉山委員 | 事前説明 | 中間とりまとめ案P7記載の駅周辺欄について「地域特性に応じた個性的な駅周辺の景観まちづくりを目指します」とある「個性的」とはどういった意味か。「地域特性に応じた駅周辺の」で良いのではないか。個性的な駅周辺の、というのは表現として微妙であると感じた。 | P46 6-3(3) | ご意見を踏まえ、「地域特性に応じた～」の表現に統一しました。 |
| 杉山委員 | 事前説明 | 駅の景観形成方針で「風格がある」という表現をしているがどういうことを指しているのか。東京駅だとか、歴史のある建物などについてはそういった表現もすると思うが、調布駅は風格というよりはむしろここが「ほっとする」という表現になるのではないか。調布市で「風格」という言葉を使うのならば調布市の風格が何なのかは明確にする必要がある。 | P46 6-3(3) | 調布駅などの拠点駅では、「質の高い駅舎や周辺建物の意匠、広場や緑と一体的な公共空間の形成」という意図で「風格のある」という表現を用いています。 |
| 椎原副会長 | 審議会 | 素案はきれいに見やすく作られていると思う。 読んだ市民の方が、自身で景観マップを作成できる付録冊子のようなものを追加できないか。自身の足でプロットしたオリジナルマップの作成機会などがあると、より良いと思う。 | P67 7-1(3) | 小学校区の景観資源図は、A3判で折り込みとし、景観学習教材として活用できるよう検討しています。地域の特性が分かりやすく伝わるような資源図の見せ方を検討していきます。 |
| 椎原副会長 | 事前説明 | QRコードですぐに自分の学校区が見られるようなWEBと紙の情報がリンクしたものがあると良いと思う。 | | |

| 委員 | 意見 | 意見要旨 | 素案 該当頁 | 反映方針 |
|------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|------------------------------------------------------|
| 吉田委員 | 審議会 | 生涯学習教材も大変良い取組だと思う。子ども一人一人がタブレットなどのデバイスを所有している時代なので、 <u>データベース化なども検討してほしい。</u> | | |
| 後藤会長 | 事前説明 | <p>調布市の景観計画の特徴は<u>小学校区と同時に景観教育</u>があげられる。そのあたりも計画に反映いただきたい。視点1～8の中で言うと視点7が調布市の景観計画の特徴を表すポイントとして一番重要。<u>資源図のクオリティが重要な</u>ので紙面を割いて書き込んでほしい。</p> <p>調布市も景観資源が多くあると思うので<u>地形・緑と水・崖線などのレイヤー</u>、<u>東京オリンピックなどの新しい歴史</u>、夕日が美しいといった内容も盛り込まれるとよいと思う。A3で作成するのも非常に良く、それを<u>コピーして教材に</u>したり、<u>市民団体が実際に持つてまち歩きをして活用したり</u>できるようなものになると良いと思う。</p> | | |
| 吉田委員 | 事前説明 | <u>小学校区と景観形成重点・推進地区のエリアがリンクするような資源図</u> が作成できると良いと思う。現状だと、 <u>小学校区がぶつ切りになっていて、地域の特性が分から</u> ない。 | | |
| 石川委員 | 事前説明 | <p>市民検討会で作成した資源図はもっと生き生きしていた。<u>地図は鳥瞰図や空撮写真</u>にするだけで印象が違うと思うし、<u>模型の写真</u>にするとか、<u>小学校区の特性がもっと表れている</u>ものの方が良いと思う。もっと<u>市民検討会のノリ</u>というか、<u>雰囲気が伝わる</u>ようなものの方が良いのではないか。市民によって発見された景観資源等、実際の土地に結び付いた情報が載ったものでないと、その土地に住んでいる人が読んだときに実感がないものになってしまう。</p> <p>多摩川も崖線も甲州街道も、この小学校区のみの特性ではなく、複数の小学校区にわたってつながっていくもの。今の資源図だとその小学校区のみのもののようになってしまっている。</p> | | |
| 川又委員 | 審議会 | 子どもアンケート、学校区ごとの取組は良い取組だと思う。市民検討会は大人の意見が多いので、 <u>子どもの意見を取り入れてほしい。</u> | P67 7-1(3) | ご意見を参考に、子どもアンケートの結果、市民検討会での意見交換結果を素案や景観資源図に反映していきます。 |

| 委員 | 意見 | 意見要旨 | 素案 該当頁 | 反映方針 |
|-------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 霜中委員 | 事前説明 | 小学校区のまちづくり方針は現行計画にも記載がある。 <u>この10年で成果はあったのか</u> （実現したものはあるのか）。 鉄道敷地跡地については予算がついて実際に整備されているので、将来的にこうなるといったものがあると、市民にももっと関心を持つてもらえるのではないか。 | P67 7-1(3) | 小学校区別の配慮事項等の記載にとどまっているものの、景観まちづくり方針を明文化することで、事業者等への案内等に使用しています。現行計画の成果や今後の整備予定が記載できるものは、各小学校区の方針に追記します。 |
| 石川委員 | 審議会 | <u>市民との協働まちづくり、市民生活の中で景観を創っていくという考え方</u> は、どこに示されているのか。 | P72 第8章 | 第8章において、市民協働による景観まちづくりについて記載しています。 |
| 霜中委員 | 審議会 | 市民として景観政策、協働の景観づくりはとてもありがたい。知る、見るはもちろん、お花を植えるなど <u>市民が取組に参加しやすい発信</u> があればより良いと思う。 | P74 8-1(2)② | 第8章において、景観に関する制度や取組についても紹介しています。今後も、まちづくりや緑化保全等の活動も含め、市民への周知・啓発の強化を行っていきます。 |
| 石川委員 | 審議会 | <u>市民検討会で参加者が活き活きと意見交換していることや、実際に生活している方々が景観を形成していること、市民が景観を発見する</u> ことが計画で伝わると良い。 | P75 8-2(2)① | 市民検討会について紹介する頁を設け、これまでの経緯、検討内容、実施写真、結果がどのように景観計画・学習教材に反映されたか等を記載しました。 |
| 椎原副会長 | 審議会 | 市内には色々な団体もあるため、 <u>景観形成主体の育成</u> に関する記載もあると良い。 | P81 8-2(4) | 新たな助成制度の創設等は予定していませんが、第8章において、景観に関する制度や取組についても紹介しており、関係課とも連携しながら市民への周知・啓発を行っていきます。 |
| 椎原副会長 | 事前説明 | 良好な景観形成に取り組む <u>団体や個人を応援する</u> ようなまちづくり活動助成制度等は考えているか。 | | |
| 杉山委員 | 事前説明 | 色彩の一覧表について、「屋根の明度6以下」とあるが、一時期黒い屋根が流行った時期があり、今は落ち着いたがたまに見かける <u>真っ黒な屋根</u> はやはり好ましくない。明るい方が良い。 | P92 10-1 | ご意見を踏まえ、アドバイザー相談等も活用しながら個別に検討していきます。 |
| 石川委員 | 審議会 | 景観資源展などを開催しても良いのではないか。 | — | 今後も市民検討会を通して市民から意見をいただく機会を設けるほか、広く市民向けの企画等も検討していきます。 |